

3. 2017 年度活動概要

ESP 研究会（九州・沖縄）は会員 25 名、「ESP 教材の開発及び教授法の研究」をテーマに活動しました。

第 25 回研究会を 6 月 10 日（土）に熊本大学全学教育棟において開催しました。光永が「グローバル人材育成の試みについて～熊本高専の事例報告～」、荒木が「言語センターと学部との連携・協働について」、安浪が「大学予算削減に伴う英語カリキュラム改革：どうなる全学グローバル人材育成？」を発表した。

また、第 26 回研究会を 3 月 31 日（土）に熊本大学全学教育棟において開催しました。山内が「福岡女子大学の EAP プログラム」、荒木が「農学大学院における EAP の方法論」、山内が「教育効果を上げる方策に関する一考察」、安浪が「e-Learning システムを用いた自律学習を促す教材展開、を発表した。

本研究会は 1 人当たりの発表と質疑の時間が 45 分に設定しているため、発表後の意見交換も大いに盛り上がるのが特徴です。

科学研究費補助金を獲得した者は次の通りです。新規に採択されたのは、荒木（研究代表者）、山本（研究分担者）、中野（研究代表者）の 2 件 3 名。継続中は、横山（研究代表者）、ブラウン（研究分担者）、南部（研究分担者）、鈴木（研究代表者）、山本（研究代表者）、荒木（研究分担者 2 件）、樋口（研究代表者）、南部（研究代表者）、吉重（研究代表者）の 7 件 9 名でした。

来年度も引き続き研究会としてのテーマを追求していきたいと考えています。